

2018年度 臨時理事会議事録

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

臨時理事会議事録

1. 開催日 平成31年1月5日(土) 14:05-17:00
2. 開催地 立正大学品川校舎
3. 出席
理事 山西哲郎 信原 靖 藤井範久 木村佳司 平島俊次 楠見耕介 愛場庸雅
茅野耕治 村越 真 大里真理子 奥田健史 瀬川 出 荻田育徳
(欠席) 羽鳥和重 遠藤匠真 伊藤好信 高野由紀 新帯 亮 藤島由宇 島津 弘
監事 尾上秀雄 (欠席)齋藤和助
参考人 広江淳良
記録 高村 卓
4. 議長 定款に従い、山西会長が議長となり開会した
5. 議事録署名人 定款に従い、山西会長、尾上監事を指名した。

審議事項

第1号議案 一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)の加盟について

大学スポーツに係わる大学横断的かつ競技横断的統括組織が、この4月から発足します。日本学連及び木村理事が説明会に参加し、学連内においても論議され、加盟すること決議した。

本組織は、法人加盟の為JOAが会員加盟する必要があると説明された。

設立時特典として入会金なし。年会費(10万円)については日本学連からJOAを経由して支出する。1月7日から2月15日の間で入会受付がある。

以上、審議の結果、出席理事13名全員が賛成し、加盟について承認された。

第2号議案 第11回全日本スプリント大会への対応について

昨年11月に開催された第11回全日本スプリント大会で起こった、失格判定について裁定委員会が開催され、失格の裁定が下された。この件に関しての理事会としての対応が審議された。

- ・裁定と主催大会ガバナンスについて、対応措置を同時にだす。
- ・全日本スプリント大会における運営上の問題を整理し告知する。

1. 裁定委員会の対応を検討し採決を取った。

- a. 裁定には規則上問題があったとして、その決定を覆す。
- b. 裁定には規則上問題はなかったが、規則の運用上の問題があった。(例：規則と国際規則との整合性、裁定員の趣旨やその啓発)
- c. 裁定員の判断には、手続き上の問題はなかった。規則上「最終的なものである」として、理事会の介入となる判断は一切行わない。

以上、審議の結果、3項目で採決を行い出席理事のうち、a/2名、b/4名、c/7名となり、c案が承認された。

報告事項

1. JOC関係 オリンピックの名称使用の説明。
2. インターハイ 2019年度はジュニア委員会企画で、主催行事として大会を開催。
3. パートナーシップによる売り上げ還元 JOAとして収入増の一つとして歓迎。
4. IOF総会での議決報告
5. WEBのリニューアル 7月の新会館移行にあわせて整理中。
6. 来年度のAsian Cup 対象大会
7. アジアワーキンググループミーティング報告
8. WMG2021
等が報告された。

討議事項

1. 全日本の年齢別選手権化
2021年にあわせ開催を検討。エリート大会と年齢別に分ける。
2. 謝金規程の改訂 次回理事会で提案。
3. 中長期的な組織強化
定款の改訂 副会長の枠を増やす、一人から二人に。
次期人材について検討、選考WGの検討等。
委員会の見直しと再編。
いずれも次回理事会での検討が必要。

以上

臨時理事会 平成31年1月5日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

監事

尾上 秀雄

印

理事会議長

山西 哲郎

印
